

## 令和6年度 第4回泉南市岡田浦駅周辺地区バリアフリー基本構想策定協議会 議事要旨

- 日 時 令和7年2月19日(水) 午後2時00分から午後3時00分
- 場 所 泉南市役所 本館2階大会議室
- 出席者 16名、アドバイザー3名  
佐久間会長、金谷副会長、金永副会長、中尾委員、中谷委員、山下委員、中根委員、森土委員、道場委員、上山委員、西谷委員、讃井委員、名手委員、眞田委員、加渡委員、伊藤委員、上浦氏(代理)、加賀田氏、秀坂氏
- 欠席者 4名  
西口委員、川端委員、大濱委員、徳田委員(代理)
- 事務局 都市整備部：市川、都市政策課：長濱、赤井
- 次 第 1 開会  
2 議 題  
(1) パブリックコメントの結果及び  
岡田浦駅周辺地区バリアフリー基本構想(案)について(審議)  
(2) その他  
3 閉 会
- 配布資料 委員名簿(出席者名簿)、配席図  
資料1：パブリックコメントの結果について  
資料2：泉南市岡田浦駅周辺地区バリアフリー基本構想(案)

### 会議録(要旨)

#### 1. 開会

#### 2. 議題

- (1) パブリックコメントの結果及び岡田浦駅周辺地区バリアフリー基本構想(案)について(審議)  
〈質疑応答〉

会長	パブリックコメントで出された意見への回答も適切であり、泉南市岡田浦駅周辺地区バリアフリー基本構想(案)の最終策定に向けて手続きを進めるということによろしいでしょうか。
全委員	異議無し
会長	それでは、泉南市岡田浦駅周辺地区バリアフリー基本構想(案)を正案とし、事務局には策定の手続きを進めていただきます。

会長	委員やオブザーバーの皆さまから一言いただきたい。
A 委員	この協議会も今日で 4 回目になり、2 回目では駅や周辺の道路などまち歩き点検をしたが、実際に現地を見ることで、生活しづらい、改善しないといけないところがあるということを身に染みて感じた。この経験から自分の住む地域でも気づきが多くなった。とても良い経験になった。
B 委員	同じ視覚障害者で、岡田浦駅から仕事に行っていた方が、通勤の際はタクシーで駅まで来て、駅員さんに介助していただきながら和歌山方面への地下通路を通っていた。帰りも駅員さんに介助していただいていたそうである。私もホームドアの設置等、要望してきたが、駅員さんには大変お世話になったので、改めてお礼申し上げたい。今後もよろしくお願いします。
C 氏	建築物に対するバリアフリーに係る条例の改定を来年度予定している。具体的には小規模店舗の対象を現行の 200 m <sup>2</sup> から 100 m <sup>2</sup> に改定する予定である。また、トイレへの大人用介護ベッドの設置基準も現行の 10,000 m <sup>2</sup> から 5000 m <sup>2</sup> に改定する予定である。 大阪府としてはバリアフリー情報の発信についても力を入れていきたい。今回の基本構想においてもバリアフリーマップについて掲載いただいたが、トイレだけでなく幅広く情報発信していく予定である。完成した暁には改めて皆様にも周知させていただく。
D 氏	運輸局では交通や観光など幅広く対象としている。 本省では評価会議を設置しており、特に災害時の当事者の避難の問題、音声案内や文字案内などの情報提供の方法等を検討している。 ホームページにも公表しているのでご覧いただきたい。
E 氏	建物を対象にしている部署である。今後、この基本構想に基づき、各事業者で調整し、事業を進めることになるかと思う。当事者の声ひとつひとつを細かく記録していくことが大事であると考えている。引き続きお願いしたい。
F 委員	樽井地区のバリアフリー化も進んでいるが、エレベーターも整備されてかなり重宝している。岡田浦駅へのエレベーター設置も望まれるが費用もかなりかかると思う。西信達小学校の跡地利用も踏まえながら、岡田浦駅周辺に住んで良かったと思えるような、目に見える形での成果が求められると思う。絵に描いた餅にならないように計画通り進んでいるのかチェックしていくことも大事である。皆さんで見守っていただければと思う。
G 委員	泉南市に住んで、この協議会に参加することになって初めて岡田浦駅周辺に来た。実際にまち歩き点検をして、使いづらい駅があることを感じた。それをどうにかしようと市が立ち上がったことを力強く感じている。また、道が狭く、グレーチングもあるが側溝にはまってしまいそうで、道をもっと広くするなど整備が進むと良いなと思った。

H 委員	在職中は電車通勤していたが、退職してからは駅を使うことがなくなり車中心となってしまった。今回、まち歩きもして色々なことが分かってきて、高齢化社会が進んできて不便のことが多いと感じた。今回、基本構想を策定して、実際に整備が進むことで住みやすい社会になれば良いなと思った。
I 委員	私の息子は精神疾患や統合失調症を持っており、コミュニケーションが苦手なときに他の人に聞くということがなかなか難しい。目が不自由な方、耳が不自由な方など色々な方がいる中で、音声案内や文字案内が増えると、精神障害の人にとっても分かりやすくなり、出かけやすくなると思った。90 歳を過ぎている母も手押し車を使っているが、歩道がガタガタで移動もしにくいというのがあったので、今回、色々なことがわかり、ありがたく思っている。
J 委員	岡田浦駅周辺に住んでいる。娘が車いすを使っているが岡田浦駅周辺は非常に移動しづらい。バリアフリー化が進むことに非常に期待している。
副会長	障害者の意見を聞いて改めて、駅、駅周辺は住みにくいところだと感じた。小学校跡地の検討においても色々な方に協力いただき、駅周辺を利用しやすい、生活しやすいまちになるように地元住民も協力していきたい。
副会長	第 2 回でまち歩きをして気づくことが多く、パブリックコメントでも実際にまち歩きで気づいた点について意見が出されていた。防犯的な話としてミラーとかブザーの設置について意見したが、すべて基本構想に位置付けていただいた。非常に感謝している。このバリアフリー法は 2000 年にできており 20 年以上が経過している。ハードに偏っていると思っていたが、今回はソフト面も位置付けることができた。心のバリアフリーについて、どこまでできるのかと思う部分もあるが、このような観点が重要だと思う。
会長	バリアフリーの専門家ではないが、皆さんから普段気づかないようなことを教えてもらうことができた。いろんな意見を出してしまったがという話もあったが、ここは意見を出していただく場であり、そのことにより気づきも多かったと思う。小学校跡地利用との連携もあり曖昧な部分もあるが、地域や行政、当事者の方含めて引き続き意見交換しながらまちづくりできると皆様の意見を聞いて感じた。

(2) その他

〈質疑応答〉

特になし

3. 閉会

以上